

国際資料室の整備（セ08-06-1/5）

本プロジェクトは、国際資料室に配置する外国の文化財や文化財保存修復事業に関する蔵書・資料の質及び量を充実させ、文化遺産国際協力センターでの関連の研究や事業に利用するとともに、国内外の関連分野の専門家が閲覧・利用できるようにする。同時に、資料のデータベース化を行い、利用者の便を図る。

1 資料の収集とデータベース化

目的

文化財自体やその保存修復、機関・組織・法令などの保護制度、文化財の公開と活用、危機管理などの分野の書籍や報告書、会議録、地図など、文化財保護に関する資料や、文化財保存修復国際協力を行ううえで参考となる関連諸学に関する資料を収集する。資料の収集は本プロジェクトだけでなく、他のプロジェクトとも連携して行い、特にプロジェクトの対象としたヨーロッパや西アジア諸国などの地域については、現地語による資料も含めて重点的に収集を行う。

また、利用者の利便性の向上及び資料の適切な管理のため、収集資料のデータベース化を行う。

成果

今年度は1,070点（和漢書479点、洋書591点）の資料を収集し、データベース化した。また、データベースについては図書及び雑誌検索専用の画面を新たに作成し、国際資料室で公開した。さらに、現在よりも資料へのアクセスを容易にする分類項目について検討を行い、現在の「大陸 国 文化財の種類」という順序の分類から、「大陸 文化財の種類 国」という分類に改めるとともに、文化財の種類による分類も、より現状を反映したものに改めることとした。

2 『国際資料室蔵書目録』の作成

目的

今年度データベースに入力した図書および雑誌について、蔵書目録を作成する。

成果

2007（平成19）年3月に、今年度に国際資料室で受け入れてデータベース化した1,070点（和漢書479点、洋書591点）の資料、及び国際資料室で所蔵する雑誌340種類を掲載した『国際資料室蔵書目録』を発行した。

目録作成数 1件

・『国際資料室蔵書目録』



国際資料室の千原大五郎先生旧蔵資料：
修復中のボロブドゥール寺院のスライド

研究組織

二神葉子、青木繁夫、稲葉信子、岡田健、山内和也、朽津信明（以上、文化遺産国際協力センター）